

ゼーフア・ニュース

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-7-204
TEL : 03(5566)0821 FAX : 03(5566)0823
URL : <https://www.zefa.or.jp>

I. 新年のご挨拶

2023年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は協会運営にご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、3年目になったコロナ禍、激震災害の引き金となる線状降水帯発生による局地的大雨・河川の氾濫等。また、ロシアのウクライナ侵攻、元首相銃撃事件、北朝鮮の度重なるミサイル発射等々、例年になく暗い話題ばかりです。新年の卯年は、兎は跳びはねる特徴があるため、景気が上向いたり回復するといわれているそうです。明るい話題を冒頭に述べるができるよう祈るばかりです。

昨年の協会活動では、5月の定時総会は感染対策を講じて対面で実施しましたが、総会後の講演会、表彰式、祝賀会・懇親会は一昨年と同様に見送りました。本年は役員改選期でもあり、定時総会後の例年実施していた各種行事は何とか実施したいと考えております。

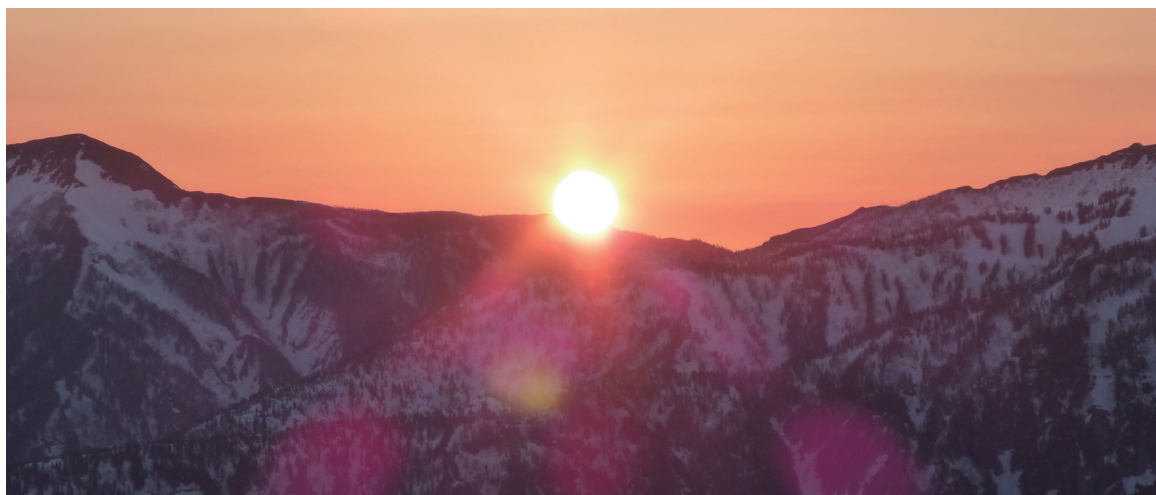
また、2年続けて見送った仙台市での「全消販合同会議・講演会」は、10月に札幌市で3年振りに開催することができました。地元北海道はもとより全国から会員が集い2019年の名古屋市開催以来の会員相互の交流を図ることができました。会議内の会員PRタイムでは会員7社が自社の製品・ソリューションを発表し、講演会では消防庁予防課係長から「予防行政」と題してご講演をいただき、盛会裏に終わることができました。本年は11月に福岡市での開催を企画しております。

全消販は、点検業務を行う事業所が主体となっている全国で唯一の団体であり、1994年に協会内で優良な点検業務実施者の発掘と資質の向上を図るため「優良事業所認定」を行い、適正な点検業務を通じて消防用設備等の維持管理の確保に励んでまいりました。今後も多様化する社会環境において、消費者に最も近い立場から消防機器の設置、設備点検等において地域の「身近な暮らしの安心と安全」のために、協会会員が一致協力して努力してまいりたいと思いますので、本年もご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員各位の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長
白井 潔



（立山大観峰の朝日）

Ⅱ. 2022年 秋の表彰関係

1. 叙勲・褒章受章

2022年秋の叙勲・褒章を以下の会員の方々が受章されました。誠におめでとうございます。

旭日双光章	佐々木 常 博 氏	株式会社アンスル	取締役相談役	(北海道)
黄綬褒章	水 谷 利 広 氏	三栄工業株式会社	代表取締役	(愛知県)



佐々木 氏



水谷 氏

2. 2022年度 消防設備関係功労者等表彰式

11月4日(金)午後2時より、明治記念館(東京都港区)にて、前田 一浩消防庁長官、北崎 秀一(一財)日本消防設備安全センター理事長、市橋 保彦日本消防検定協会理事長、金森 賢治(一社)全国消防機器協会会長、その他多くのご来賓隣席のもと、令和4年度消防設備関係功労者等表彰式が執り行われました。

(1) 消防庁長官表彰

① 消防機器開発普及功労者表彰

全消販上申会員より、新 氏、栗山氏が受賞されました。誠におめでとうございます。

新 裕 章 氏	ニュー商事株式会社	代表取締役社長	(愛知県)
栗 山 修 氏	株式会社イワナガ	代表取締役社長	(東京都)



新 氏



栗山 氏

また、以下の会員の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

川 野 勝 茂 氏	トーヨー消火器工業株式会社	取締役	(東京都)
喜 田 大 輔 氏	富士産業株式会社	専務取締役	(大阪府)
高 木 幸 一 氏	株式会社立売堀製作所	総務顧問	(滋賀県)

② 消防設備保守関係功労者表彰

全消販会員より以下の会員の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

梅 田 聡 氏	株式会社東 商	代表取締役	(岐阜県)
土 谷 直 人 氏	ニッセー防災株式会社	代表取締役	(静岡県)
船 岡 伸 季 氏	日本防火産業株式会社	代表取締役社長	(京都府)



消防機器開発普及功労者表彰受賞者



消防設備保守関係功労者表彰受賞者

(2) 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

全消販会員より以下の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

① 消防設備保守関係者表彰

鈴木 裕章 氏	北海道消防機材株式会社	苫小牧営業所長	(北海道)
小倉 龍彦 氏	株式会社東晃防災	代表取締役	(神奈川県)
安達 耕平 氏	東報電産株式会社	代表取締役	(三重県)
布野 慶一 氏	真弓興業株式会社	大阪支社長	(大阪府)
藤岡 秀則 氏	株式会社フジオカ	代表取締役社長	(長崎県)

② 消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰

池田 誠 氏	株式会社ヤマト商会	代表取締役	(北海道)
結城 剛 氏	株式会社サイボウ	代表取締役	(埼玉県)
加藤 秀和 氏	小桜興産株式会社	代表取締役	(愛知県)

Ⅲ. 全消販 2022 年度合同会議開催

2022年度の全消販合同会議が3年振りに札幌市にて開催されました。以下に実施概況をお知らせします。

開催日時 2022年10月7日（金）14時～17時30分 **場所** 札幌プリンスホテル 国際館パミール
出席者数 正会員：58社（60名） 賛助会員：8社（12名）
講演会には、北海道総務部危機対策局、札幌市消防局、（一社）北海道消防設備協会から役職者9名のご参加をいただきました。

1. 第165回 理事会 （参加者全員により合同会議）

（1）開 会

事務局長より理事会開催の定足数充足の報告と会議配布資料確認及び会議プログラムの説明があり、臼井理事長の開催の挨拶、地元の下出理事の挨拶があり、定款の定めにより理事長が議長に就任し、議事審議に入った。

（2）議 事

第1号議案 2022年度 上半期の事業報告について

議長は定款の定めにより業務執行状況を理事会に報告する旨を述べ、以下の事項を事務局長に説明させ、説明後議長はこれを一堂に諮り、承認されました。

① 総会・理事会・その他会議

上半期の総会、理事会等の実施状況について説明がなされた。

② 表彰関連

叙勲、全国消防機器協会会長表彰、全消販功労者表彰等について説明がなされた。

③ 会員の入退会状況について

新規入会会員及び退会会員について報告がなされた。

④ 消防設備等点検優良事業所認定について

当年度の更新、新規募集状況について報告がなされた。

⑤ 自治体への消火器リサイクルPR活動について

6月～9月の活動結果報告がなされた。

⑥ 広報及び庶務事項

上期の広報、庶務事項の活動報告がなされた。

報告事項

① （一財）日本消防設備安全センターが主管する消防防災研究開発助成事業について

来年度の募集要項の説明がなされた。

② 今後の主な行事予定について

主たる行事日程の説明がなされた。



臼井 理事長



下出 理事



会議 会場

2. 研 修 会（会員からの提言・PR）

- (1) アークリード株式会社 代表取締役 尾 阪 則 将 様
・ヒーター式加熱試験器のご紹介



- (2) 石田データサービス株式会社 代表取締役 井 上 英 明 様
・全国設備業DX推進会のご紹介



- (3) 大槻ポンプ工業株式会社 代表取締役 大 槻 浩 平 様
・体験型消火器使用訓練システムのご紹介



- (4) 株式会社 G & ECO 営業本部 宮 本 裕 太 様
・可搬型発電機・ポータブル蓄電池のご紹介



- (5) 株式会社東晃防災 営業課長 熊 木 浩 司 様
・ホース耐圧試験機のご紹介



- (6) 株式会社ファイテック 代表取締役 林 富 徳 様
・高濃縮消火剤と資機材による空中消火システムの開発



- (7) マルヤマエクセル株式会社 東日本営業所長 村 野 剛 様
・ウルトラファインバブルシャワーヘッドのご紹介



3. 講 演 会

総務省消防庁予防課 企画調整係長 田 澤 了 様
「予防行政（課題と対応）」と題して、以下のテーマについてご講演いただきました。

内 容

- ① 消防用設備等点検報告制度の現状について
- ② PFOS・PFOA等のフッ素化合物に対する環境規制について
- ③ 民泊サービスに係る動向等について
- ④ 地震等の災害への対応について
- ⑤ 住宅防火対策について
- ⑥ 火災調査の業務効率化に向けた検討について
- ⑦ 最近の火災を踏まえた安全対策について
- ⑧ 火災予防分野における各種手続きの電子申請等の推進について
- ⑨ 二酸化炭素消火設備における事故を踏まえた対応について
- ⑩ 予防業務優良事例表彰について
- ⑪ 畜舎における特例基準の在り方について



田澤 氏



講演会場

Ⅳ. 消防庁からのメッセージ (1)

2021年（令和3年）における火災の状況（確定値）が、2022年10月28日に公表されました。

以下に消防庁発表の報道資料を掲載します。

詳細は消防庁ホームページをご覧ください。（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/>）

令和3年中の火災状況について、1月から12月までの確定値をとりまとめましたので、その概要を公表します。

前年と比較すると、総出火件数、火災による死者数ともに増加しています。

①総出火件数は35,222件、前年より531件の増加

総出火件数は、35,222件で、前年より531件増加（+1.5%）しています。火災種別で見ますと、建物火災が、184件増加、林野火災が12件減少、車両火災が46件増加、船舶火災が15件減少、航空機火災が増減なし、その他火災が328件増加しています。

②総死者数は1,417人、前年より91人の増加

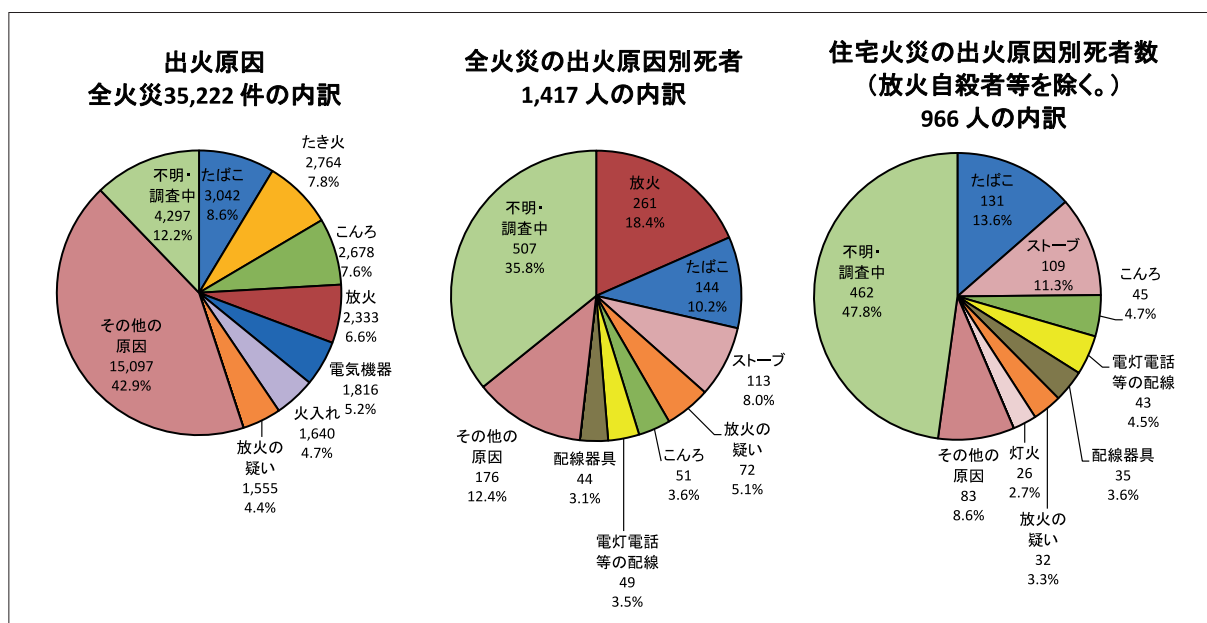
火災による総死者数は、1,417人で、前年より91人増加（+6.9%）しています。負傷者数は、5,433人で、前年より150人減少（-2.7%）しています。

③住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は966人、前年より67人の増加

住宅火災による総死者（放火自殺者等を除く。）数は、966人で、前年より67人増加（+7.5%）しています。このうち65歳以上の高齢者は716人で、前年より71人増加（+11.0%）し、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数の74.1%を占めています。

④出火原因の第1位は「たばこ」、第2位は「たき火」です。

総出火件数の35,222件を出火原因別にみると、「たばこ」3,042件（8.6%）、「たき火」2,764件（7.8%）、「こんろ」2,678件（7.6%）、「放火」2,333件（6.6%）、「電気機器」1,816件（5.2%）の順となっています。また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると3,888件（11.0%）となっています。



2021年（令和3年）（1月～12月）における火災の状況（確定値）

Ⅳ. 消防庁からのメッセージ (2)

インボイス制度開始に向けた協力依頼通知が総務省、財務省、国税庁から各事業者団体宛に発出されています(2022年11月10日付)。以下に抜粋内容を掲載します。早期登録にご活用ください。

【協力依頼通知抜粋】

消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)が、2023年10月1日に開始されます。2023年10月1日から「適格請求書発行事業者(インボイス発行事業者)」となるための原則的な期限は、2023年3月末になっております。インボイス制度においては、買手は消費税の仕入税額控除のためには原則としてインボイスの保存が必要になり、売手はインボイスの交付を行うためには「インボイス発行事業者」の登録申請が必要になります。

昨年より数次にわたりお願いさせていただいた内容と重複する部分もございますが、ご協力賜れば幸いです。

1. 早期登録の依頼

インボイス発行事業者の登録については、令和4年9月末時点では約120万の事業者の方が登録されています。この登録件数については、現在毎月約20万程度が登録されており、そのペースも前月比で+20%になるなど、加速度的に増加しています。こうしたことから、原則的な申請期限である令和5年3月末に近づくにつれ申請数が大幅に増加することが予想されます。そのため登録処理に時間をいただくことが予想されますので、現時点で登録を予定されている事業者の方などにおかれましては、できるだけ早期の登録申請をお願いしています。

なお、制度自体や登録申請に際して必要となる情報は、国税庁ホームページの「インボイス制度特設サイト」内に「インボイス発行事業者」の登録申請手続を掲載しております。同サイト内には、事業者の方の制度理解に資する資料や国税庁・税務署が主催するどなたでも参加可能な説明会のご案内等も掲載しています。

また、一般的なご質問を受け付けるチャットボットやフリーダイヤルも開設しておりますので、ご活用ください。

制度に関する各種ご案内

【国税庁 インボイス制度特設サイト】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

【国税庁 令和5年10月 インボイス制度が始まります！(リーフレット)】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0022008-052.pdf>

【国税庁 適格請求書等保存方式の概要 インボイス制度の理解のために】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020006-027.pdf>

【国税庁 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の手引き】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0022009-090.pdf>

【国税庁 適格請求書等保存方式に関するQ&A】

https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/qa_01.htm

【国税庁 税務相談チャットボット】

https://www.chat.nta.go.jp/invoice/app?utm_source=sonotapamph_qr

【国税庁 軽減・インボイスコールセンター】

0120-205-553(無料) 【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く)

免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A

【財務省】

https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d02.htm

【公正取引委員会】

https://www.jftc.go.jp/dk/guideline/nyoukijun/invoice_qanda.html

【中小企業庁】

<https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zeisei/index.html>

【国土交通省】

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000178.html

※ 各ホームページに掲載されているものは同様の内容です。

中小企業等に向けた支援措置

【中小企業庁 中小企業生産性革命推進事業】

https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/2021/1224/003_seisansei.pdf

V. 事務局からのお知らせ

1. 新入会員のご紹介

2022年には、以下の会員の方々が新規にご入会されました。どうぞ宜しくお願い致します。

【正会員】

- ① 札幌防災株式会社 代表取締役 酒井 栄一 様 (北海道札幌市)
- ② 立尾電設株式会社 代表取締役 永田 士朗 様 (熊本県水俣市)
- ③ 株式会社 甲進 代表取締役 佐々木 肇 様 (兵庫県神戸市)

2. 全消販 2023年 第37回 定時総会について

全消販定時総会は以下の日程で開催されます。詳細のご案内は後日差し上げます。

是非ご予約にいらしていただき、多くの会員の皆様のご出席をお願いします。

開催日：2023年5月12日（金） 午後

会 場：「KKRホテル東京」（東京都千代田区大手町1-4-1）

3. 全消販 合同会議開催について

全消販合同会議の開催地が決まりました。

詳細につきましては後日ご案内差し上げます。

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：2023年11月10日（金） 午後

合同会議、講演会、懇親会等

開催地：福岡県福岡市

会 場：「KKRホテル博多」

（福岡県福岡市中央区薬院 4-21-1）



KKRホテル博多

4. 「東京国際消防防災展 2023」について

「東京国際消防防災展 2023」が、2018年以来5年ぶりに以下の日程、会場で開催されます。

会 期：2023年6月15日（木）～6月18日（日）

会 期：東京ビッグサイト 東5・6・7ホール・東棟屋外展示スペース

5. 新年のご挨拶（事務局）

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。昨年は、オリンピック・パラリンピックの祭りの後の物憂げな風が吹いたような1年でした。明るく笑えた日々が少なかったように思います。ただ、サッカー日本代表の活躍が、1年の終わりを締めてくれました。

今年もウクライナとロシアの戦況、北朝鮮の動き、コロナ感染禍の状況等、不安定になる要素が沢山ありますが、兎年は景気が上向く年と謂われるそうです。また、株式市場にとっては相性の良い年回りとして知られているようです。会員の皆様のご活躍を祈念申し上げます。

本年もご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

編集責任者：理事長 白井 潔

編 集：事務局長 岡田 昇